



夏の日差しの中、コロナ禍による制限はあるにしても、どろんこや水、そして自然の中で存分に遊んだ子ども達。通常の保育から経験できない家族一緒の多様な体験を通し、試したり挑戦したりしたことは、一人ひとりの子ども達の心の中に自信となっていることと思います。その自信がこれからの園生活や遊びに向かうエネルギーとなることと思います。

2020年年主題 ところが満たされる



2020年年聖句

「喜びと平和であなた方を満たす」ローマ15:13

9月の月の主題 友だちとともに

9月の聖書の言葉

「わたしはあなたがたを友と呼ぶ。」ヨハネ15:15

9月の月のねがい

- ・神様が下さった平和を考え、ともに祈る。
- ・夏の経験が喜びとなり、友だちに伝えたり、イメージを共有しながら共に遊ぶことを喜ぶ。
- ・うつろいゆく自然の変化に興味をもち、その中で心を動かして過ごす。

9月の予定

- 1日(火) 園庭お披露目会・保育参加
- 2日(水) 給食始まり
- 4日(金) 歯科検診(ばら・ゆり・ちゅうりっぷ)
- 7日(月) 武生国際音楽祭
子どものためのコンサート 10:30~(全園児)
- 8日(火) スイミング 9:10 出発(ばら・ゆり)
- 9日(水) お茶 13:30~(ばら)
- 10日(木) 体操教室 13:15~(ゆり)
- 14日(月) ばら組オンライン誕生会 13:15~
- 15日(火) 絵本読み聞かせ
- 16日(水) 資源回収
ゆり組オンライン誕生会 13:15~
- 17日(木) 体操教室 13:15~(ばら)
ちゅうりっぷ組オンライン誕生会 13:15~
- 18日(金) すみれ・たんぽぽ組オンライン誕生会 11:00~
- 23日(水) お茶 13:30~(ばら)
- 28日(月) リトミック(ちゅうりっぷ)
- 29日(火) スイミング 9:10 出発(ばら・ゆり)

《お知らせとお願い》

○1日(火)は、園庭のお披露目会と保育参加をします。新しくなった園庭で親子一緒に楽しく遊ぶ時間を設けたいと思います。尚、新型コロナウイルス感染予防の為、密にならないように時間を区切り、消毒作業の時間を設けます。少しの時間ではありますが、保護者様にも子ども達と同じ目線で楽しんでください。詳細は、キッズリーをご覧ください。

○4日(金)は、山本歯科医院の山本有一郎先生に歯の検査をしていただきます。
※歯科検診の結果はこひつじノートに記入しますのでご覧ください。

○7日(月)は、武生国際音楽祭・子どものためのコンサートです。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、県内の音楽家のお二人が幼稚園に来てくださることになりました。

○14日(月)~18日(金)は、オンライン誕生会を行います。クラスごとに開催しますので、7月・8月・9月生まれのお子様の保護者様には後日、ZOOM ID、パスワードをメールでお知らせします。当日、時間になりましたらオンラインでのご参加をお願いします。

○毎年9月に、敬老のお招きをさせていただいていますが、今年はクラスごとに子ども達からの敬老のメッセージをYouTubeでの動画限定配信を予定しております。

○子ども達は毎日汗をかきますので、1学期同様、着替えを1組×2つ、必ず1組ずつ袋に入れてお持ちください。



10月の予定

- 10日(土) 運動会(午前中開催)
(ちゅうりっぷ組、ゆり組、ばら組参加)
- 19日(月) 保育カウンセラー来園
(相談がある方はお申し出ください。)



9月の礼拝

月主題

『友だちとともに』

聖書の言葉

9月主題聖句

「わたしはあなたがたを友と呼ぶ」

(ヨハネの福音書 15 章 15 節)

解説：

わたしがあなたがたを選んだ(ヨハネの福音書 15 章 16 節)

選ぶという言葉は、普通は、複数の選択肢の中から何かの基準で良いものを選ぶという意味で使われます。しかしイエスさまの弟子たちの選びは、そういう選びとは異なるようです。福音書にはこう記されています。イエスが山に登って、これと思う人々を呼び寄せられると、彼らはそばに集まって来た。そこで十二人を任命し、使徒と名付けられた。(マルコの福音書 3 章 13 節 14 節) そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈って夜を明かされた。朝になると弟子たちを呼び集め、その中から十二人を選んで使徒と名付けられた。(ルカの福音書 6 章 12 節 13 節)

確かに「選んだ」のですが、「祈って」「これと思う人」と記されているだけです。12 使徒の選びの根拠は、まったくイエスさまの胸の内だけにある、人間的には何の基準も原則もないように思われます。

しかも、12 人は相当個性豊かな集団で、背景も政治的な立場も様々でした。たぶん、イエスさまが招いたのでなければ、一緒にならないような人々であったに違いありません。そして、12 人は「どうしてあんなやつをこの 12 弟子に入れたのだろう。あいつ、変わっているよ。難ありだよな」とお互いに思っていたかもしれません。たぶん、弟子たちのそのようなお互いへの判断は正しかったでしょう。ただし、次の点で彼らの判断は正しくありませんでした。それは、「自分だけはけっこうまともだ」思っていたということです。だから、「誰が一番偉いか」(ルカの福音書 22 章 24 節)などと論じ合うことができたのです。

わたしはあなたがたを友と呼ぶ(ヨハネの福音書 15 章 15 節)

イエスさまは、弟子たちが優れているから、愛した

のではありません。彼らにはゆがみや欠点がありました。しかし、それでも「友」と呼んだのです。そして、「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」(ヨハネの福音書 15 章 13 節)と言われたイエスさまは、この直後、十字架で命を捨てられました。裏切った弟子たちのためにです。これは、人間を見捨てることを決してなさない。という神様の決意の表れです。イエスさまの愛は不可解としか言えないような愛です。そして、そのような愛で愛されている人間があなたであり、私でもあるのです。

(「キリスト教保育」誌 9 月号より要約、抜粋)

☆ 園庭が新しくなりました！ ☆

夏休み中に園庭リニューアル工事を行い、子ども達が「やってみたい！」ことを叶える園庭に生まれ変わりました。子どもは遊び



ながら学び育ちます。自分の力試しをしながら夢中になることにより、能力が育まれます。これからどのように子ども達が遊びに向

かい合い、成長していくか楽しみです。私達保育者はできる限り、子ども達がやりたいようにできるように見守り、子ども達の主体性を大切にしていきたいと思います。



☆ 電解水生成装置を 2 台設置しました ☆

コロナ禍の中、できる限りの対策は行いますが、延長保育休止等まだしばらくはご協力をお願いします。給食室とテラスの手洗い場にも電解水生成装置を設置しましたので、手洗い等に活用します。